



peernet

2012(平成24)年10月発行

第16号

ピアネット北 通信



* 北区障害者地域自立生活支援室 *

日常の相談支援の他に、障害者対象の健康講座(ヨガ講座)や、知的障害者対象の「ハンドメイド教室」等の自立生活プログラムを開催しています。

今年は成年後見制度講座の開催、「親族後見のいろいろ」と題して障害者に対する親族後見のあり方や問題点、様々な事例を学習しました。

また、ADHD(注意欠陥・多動症候群)、LD(学習障害)、アスペルガー症候群等の軽度発達障害の方(15歳以上)やそのご家族を対象とした相談支援も行っています(完全予約制です)。

【主な活動】

- 障害理解教育
- 健康講座(ヨガ教室)
- 視覚障害者自立生活プログラム
- 知的障害者自立生活プログラム
- パソコン相談
- 軽度発達障害相談
- 「支援室だより」の発行
- 「介護派遣事業所調査報告書」の発行
- 「北区障害者関係機関ガイドブック」の発行



ハンドメイド教室



講演会「親族後見のいろいろ」

【事務局】

〒114-0003 北区豊島 5-5-5-612
TEL・FAX : 03-3913-9308

【北区障害者地域自立生活支援室】

〒114-0032 北区中十条 1-2-18
TEL・FAX : 03-3905-7226

URL : <http://www.peernet.or.jp/>

【療育相談事業 あこの会】

〒114-0032 北区中十条 1-4-7 インクースビル 6階
TEL・FAX : 03-3900-6848

【重度身体障害者グループホーム やじろべえ】

〒115-0052 北区赤羽北 1-7-23
TEL・FAX : 03-6657-9077

E-mail : peernet@ma.kitanet.ne.jp

療育相談事業「あこの会」

《合宿をしました》

十条にある東京都障害者総合スポーツセンターで1泊2日の合宿をしました。あこの会での毎週の療育では、運動や認知学習だけでなく、食事や着替えなどの生活面の教育を重視しています。しかし、あこの会の場面だけでは、生活の様子がなかなか見えてきません。子どもたちの力をより生活に近い場面で高めていきたいと考え、合宿を始めました。



ある金曜の夕方、大きなリュックを背負って子どもたちが集まってきました。友達と過ごす合宿が楽しみで笑顔の子もいますが、不安そうな表情の子もちらほらと。両親と離れて泊まるのが初めてで、別れ際に思わず涙ぐむ子もいました。



1日目は、食事(マナーも大切なポイントです)、着替え、入浴、歯磨き、荷物管理など、生活面のことをどれくらいできるか、ひと通りチェックします。

みんなが楽しみにしているのが、センターの大きなお風呂です。しかし、湯船につかるまでがひと苦勞。洗いが「合格」にならないと入るわけにはいきません。できるだけ自分で洗えるように、洗い方をチェックして教えていきます。見えない背中やお尻をまったく洗わない子や、力の入れ方がうまくいかずタオルで体をスーッとまでるだけの子もいます。お風呂のことだけではありませ

んが、なんでも大人がやってあげるのではなく、子どもができるようになるやり方を見つけ、一緒に手を添えながら、身につくまでじっくり教えていきたいと思っています。

2日目は、集会室でゲーム大会をしました。ゲーム大会といっても二人三脚やおんぶ競争など、友達と一緒に体を動かしたり、ペアの友達と協力したり、社会性を育てる大切なひと時です。人への関心がうすい、勝ち負けを気にしないといわれがちの子が多いのですが、チーム対抗戦では、勝利にむかっている間にやら、必死に協力しあう姿も見られました。ゲーム大会が終わるころには子どもたちもみんな汗びっしょり、ふと気がつけば、昨日両親との別れで泣いていた子も、すっきりとした笑顔になっていました。



子どもたちが泣いたり笑ったりしている姿を写真やビデオで見せながら保護者に伝えて、子どもたちとお別れです。

あこの会に通っている子どもたちには、発達につまずきがあっても自分のことはできるだけ自分で取り組ませたいと考えています。それは、将来できるだけ自分の力を発揮して、周りの人から認められて生きていけるようになってほしいからです。本当に短い時間ですが、この合宿が少しずつでも前に進むきっかけになればと思っています。

【主な活動】

●子育て勉強会の開催 ●外部講師研修会 ●ハイキング ●宿泊訓練 ●職場見学・報告会 ●冬の懇親会

* 重度身体障害者グループホーム「やじろべえ」 *

《防災訓練に参加しました》

10月13日(土)、入居者が加盟している袋町自治会の防災訓練に参加しました。

訓練内容はほぼ例年通りでしたが、東日本大震災で被害に遭った大槌町の町長さんのお話を伺ったり、津波のビデオを見たりして、被災状況や復興計画について詳しく知ることができました。

当時からテレビで被災地の映像は見ていましたが、一年半経って改めて見ると恐ろしさがよみがえり、自分たちがあの場にいたらと思うとぞっとしました。被災地の一日も早い復興を願うとともに、やじろべえの防災対策についても考えさせられる貴重な体験となりました。



《社会福祉法人木下財団より、助成金をいただきました》

やじろべえも6年目となり、家電製品の調子が次々悪くなっています。不具合になった家電は出来る限り修理していますが、1日最低8回はまわす洗濯機からは悲鳴のような音が出始めました。また、花粉症が酷くなった入居者もいることから、この度洗濯機と空気清浄機を購入したいと考え木下財団に助成金の申請をしました。8月に書類選考が通ったとの連絡があり、財団の方が訪問調査にいらっしゃいました。その際、「たぶん助成金は降りると思います」とおっしゃって頂きましたが、これまで何度も“残念でした”の通知を頂いていたので、半信半疑で結果を待ちました。

そして10月5日、助成金を頂けるとのお知らせが到着。財団からの封筒がポストにあるのを見た時には思わず「よし！」と声を出してしまいました。

新しい洗濯機は静かで、スピーディーで最高です。職員一同、大切に使用させていただきます。

【主な活動】

●職員会議・研修 ●リクエストメニュー ●東京都障害者総合スポーツセンター納涼祭参加

* 福祉人材育成事業 *

今年も、10月13日(土)に社会福祉士受験対策講座を開催いたしました。今年のテーマは「制度と数字から読み解く社会福祉士・精神保健福祉士共通科目」とし、歴史的な流れの中から制度を理解したり、統計資料等を使用して数字から今の社会情勢等を学んだりする講座を開催しました。様々な法律や制度は、突然出来上がるものではありません。そこに至るまでの歴史的な背景や経過を知ることでより深く理解することができました。当日は約50名の受講者にご参加いただきました。



【主な活動】

●社会福祉士国家試験受験対策講座 ●ガイドヘルパー養成研修 ●企業における障害理解講座

* バリアフリー旅行促進事業 *

7月7日(土)、8日(日)にバリアフリー旅行へ行ってきました。今年の行先は温泉で知られる伊香保です。当日はあいにくの雨模様で少し肌寒い陽気でしたが、子ども3人を含む総勢20人で、賑やかに障害者スポーツセンターを出発しました。途中渋滞することもなく、自己紹介やビデオ観賞をしているうちに、バスは最初の目的地、水澤亭に到着。名物の水沢うどんを天麩羅と共に頂きました。水沢うどんは、讃岐、稲庭と並んで三大うどんにも数えられているそうです。お腹いっぱいになったところで、午後は長く手づくりのガラスをつくり続けているハルナガラスの工房を見学しました。駄菓子屋さんで見かけるお菓子のつまった丸い地球瓶を日本で唯一つくっているとのこと、ガラスづくりの過程を丁寧に教えてくれました。その後、移動中のバスから見えた「まいたけセンター」の看板が気に入り、当初の予定にはなかった群馬まいたけセンターへ。栽培中のまいたけを見学するという、珍しい体験をすることができました。バター炒めを試食すると、採れたてのまいたけは、風味が豊かで歯ごたえも抜群!! おみやげも買いました。1日目の見学を終えると、ホテル松本楼に。夕食まで、石段街へ行ったり温泉につかったり、それぞれ楽しいひとときを過ごしました。石段街には、365段もの階段があるそうで、途中で息が弾んできました。子ども達も途中で、「まだ着かないの?」。それでも無事に頂上まで登り切りました。夕食では、地元の食材を使ったご飯を頂き、食後は恒例となったカラオケ大会で各々好きな曲を披露。打ち解けた雰囲気にも包まれ、この日の活動を終了しました。



2日目の始まりは、朝食のバイキング。たくさんのメニューに朝から盛り上がり、お皿いっぱいになり盛付けている参加者も!! 朝食後は、ホテルのみなさんに感謝して出発。天候も落ち着き、原田農園にさくらんぼ狩りへ向かいました。到着し、「さあ、さくらんぼ狩り!」と思うと、さくらんぼ農園は別の場所にあるとのこと。さらに30分程バスに揺られ、さくらんぼの木が並ぶ広い農園に着きました。さくらんぼ狩りは、来季のための花を傷つけないよう、へたの部分を残して先の実だけを採るのだそうです。熟れた実のついた木を探して狩るのですが、意外と枝が高く、採るのが大変。みんなで脚立を使い、お互いに採ってもらったりしながら、みずみずしいさくらんぼを堪能しました。さくらんぼ狩りが終わると、原田農園の売店で各自お昼やおみやげ選び。旅行最後の買物や食事を満喫しました。この間に有志で野菜狩りも行い、新鮮な夏野菜もたくさん収穫しました。



帰りのバスも、渋滞に巻き込まれることなく、予定通り障害者スポーツセンターに戻ってくることができました。日常ではなかなか味わうことのできないバイキングや温泉がとても人気だったようです。今回ご参加頂いたみなさま、本当にありがとうございました!!



【入会のご案内とご寄付のお願い】

ピアネット北では、一緒に活動をしてくださる正会員、活動の趣旨に賛同して資金面の援助をしてくださる賛助会員の方を募集しています。入会ご希望の方は、下記口座にお振込みいただくかピアネット北事務局までお問い合わせ下さい。

正会員	年会費	10,000円
賛助会員	3口より	(1口 1,000円)

郵便口座 : 00100-5-296049
口座名称 : 特定非営利活動法人 ピアネット北
※通信欄に正会員費、賛助会員費、寄付のいずれかをご記入ください。

お問い合わせ先: TEL・FAX : 03-3905-7226